



千住真理子 & 長谷川陽子

〈ヴァイオリン〉

〈チェロ〉

バッハの旅

Yoko Hasegawa



Mariko Senju



2019年 **12/7** 土

開演 **14:00** (終演予定 **16:00**)

法政大学多摩キャンパス2号館大教室A棟 (大ホール)

千住真理子 (ヴァイオリン) / 長谷川陽子 (チェロ)

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第6番 (長谷川)
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 (千住)
2声のインベンション (千住、長谷川) ほか

チケット 事前応募制 ペア800組1600名様をご招待(入場無料) 発送 11月中旬予定
応募者多数の場合は厳正な抽選の上、発送をもって当選の発表とさせていただきます。

応募方法 ①郵便番号・住所、②電話番号、③氏名(ふりがな)を明記の上、
FAXまたは官製はがきにて(1人1枚(2名分)限り)。
●応募締切 10月25日(金)締切日消印有効
●応募先 FAX 042-783-2167
官製はがき 〒194-0298(住所不要)法政大学多摩キャンパスコンサートN係

注意事項 未就学のお子様の入場はできません。

お問い合わせ 法政大学多摩事務部総務課地域担当 ☎ **042-783-3014**

千住真理子<ヴァイオリン> & 長谷川陽子<チェロ>

バッハの旅

人気・知名度ともNo.1のヴァイオリニスト・千住真理子と、日本のチェロ界をリードするチェリスト・長谷川陽子の夢の出会い。J.S.バッハのヴァイオリンのための無伴奏曲、チェロのための無伴奏曲をそれぞれが演奏。後半は鍵盤楽器のためにかかれたインベンションを二人で演奏します。二人の軽妙なトークに誘われて、バッハの世界に旅してみませんか。



©Kiyotaka Saito(SCOPE)



©塩澤秀樹

千住 真理子 [ヴァイオリン] Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、1987年ロンドン、1988年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホール、ウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またプラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2020年にはデビュー45周年を迎える。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011～2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャルホームページ <http://www.marikosenju.com/>

長谷川陽子 [チェロ] Yoko Hasegawa(Cello)

色彩豊かな音色と音楽性を持ち合わせた、日本を代表するチェロ奏者の一人。

桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」で井上頼豊氏に師事。1987年リサイタル・デビュー。翌1988年小林研一郎指揮/日本フィルとの共演で協奏曲デビュー。桐朋学園音楽大学を経て、シベリウス・アカデミー(フィンランド)に留学。アルト・ノラス氏に師事し、1992年首席で卒業。これまでNHK交響楽団、プラハ交響楽団等、国内外の主要オーケストラとの共演多数。日本各地でのソロ・リサイタルや無伴奏リサイタル出演のほか、室内楽奏者としても活躍している。また「金子みすゞ」「セロ弾きのゴーシュ」をテーマとした公演にも出演するなど、幅広いファンから支持を得ている。各地音楽祭にも数多く招待されるほか、プロデューサーとしても活躍するなど、その活動は多岐に亘る。メディアへの露出も多く、NHK Eテレ「ららら♪クラシック」ではMC高橋克典氏のチェロの先生やゲスト等でたびたび出演した。その他、ラジオのパーソナリティでレギュラー出演するなどしている。

CDはビクターエンタテインメントより「ブラームス/ソナタ」「バッハ/無伴奏チェロ組曲」「展覧会の絵」「バーバー&エルガー:チェロ協奏曲」「チェリッシモ」「シャコンヌ」等リリース。最新版として2017年には「ショパン・トリビュート」をリリースした。

アリオン賞審査員奨励賞、松村賞、霧島国際音楽祭賞、ロストロポーヴィチ国際コンクール特別賞、モービル音楽賞奨励賞、新日鉄音楽賞フレッシュ・アーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞等、受賞多数。現在、桐朋学園大学音楽学部准教授として後進の指導にもあたっている。

ホームページ <http://yoko-hasegawa.com/>